

市民フォーラムまとめ「市民報告会」市民意見・要望一覧表

(会場配布資料)

昨年(平成23年)実施した「6地域での市民地域フォーラム」及び「障がい者フォーラム」において市民から頂いた貴重なご意見及びご要望に基づいて作成しております。

大項目	市民からの意見及び要望(要約)	行政(市・県)の見解	担当委員名
1 交通バリアフリー対策 (低床バス導入等)について	障がい者にとっては低床バスの導入促進を是非お願いしたい。	～、県内では低床バスは9台のみで、導入率は平成23年3月現在、全国ワースト1であり、ノンステップバスについては、全国平均28%に対して、本県は1%という極めて低い水準にある。バリアフリー法関連で平成32年度末まで503台、導入率を70%に高めなければならない。県では、一括交付金を活用して、今年度から平成28年度までの5年間で200台のノンステップバスを導入する予定である。	宮平(1～2)
	バス利用者は学生と高齢者が大半を占めていると思うので、低床バスをもっと増やすべきだ。		
	視覚障害者だが低床バスの充実を図って頂きたい		
	ホノルルのようなバリアフリー化を那覇市も進めてほしい。		
	車イスでバスに乗る場合は予約制である。予約なしで乗れるときがくるのか。		
	国際通りを車両制限する話があったが、障がい者の車両はどうなるのか心配。		
	左半身マヒだがタクシー利用したくても割高になるので、1台でも多く低床バスを導入してほしい。	中心市街地は歩行空間を創出するために外縁部へ駐車、中心市街地は歩行者優先エリアにする。公共交通のバリアフリー化を進めていく。	
	九州各県の公共交通機関のバリアフリーは随分進んでいて殆どが市営です。本市で市営化の議論をされたことはあるのか。	バスの市営化は議論されたことはありません。	
	新車のバスよりも中古で数台購入して障がい者が気軽に移動できる権利を保障してもらいたい。		
	何十年前から低床バスの導入について議論されているが進まない理由は何か。財政的な面だけなのか。		
2 路線バスの運行等 (バス網の再編含む)について	首里から寄宮方面への直通がない。	支線と幹線を有機的に繋ぐ乗り継ぎ交通結節点の整備が必要と考える。併せて、分かりやすい運行状況の情報提供が重要と考える。バス網の整備(最適化)のためには県も含めて、バス事業者と協議しながら進めていく必要があると考える。	
	バス停は信号を過ぎたところに設置するのが望ましい。	バス停位置に関してはバス業者とのより安全で利便性の高いバス停となるよう関係機関との調整が必要になる。	
	若狭地域から与儀方面へのアクセスが悪いがどうかできないか。	交通機関軸の導入と合わせたバス網の事業者である県との調整になる。再編については交通事業者と協議しながら進めていく予定である。	
	仮庁舎前の小型バスは17時以降の便数が少ないので、増やして欲しい。	バス会社へ伝え改善可能かどうか協議したいと考えている。	

	大項目	市民からのご意見及びご要望(要約)	行政(市・県)の見解	担当委員名
2	路線バスの運行等 (バス網の再編含む) について	仮庁舎前の小型バスは乗車する人が多く誰も席を譲らず殆ど立つことになるので大型化できないか	運行における道路環境・地域特性を勘案して現在の小型バスに決定された経緯がある。	
3	公共交通への利用転換を図る(バスの定時性)対策について	車に乗らなくてもいい社会づくりによりきめ細かい検討をしてもらいたい。	那覇市では第4次総合計画のなかで「誰もが移動しやすいまちをつくる」を施策のひとつに掲げており、自動車から公共交通の利用転換を図るさまざまな施策を当計画において整備方針を示している。	花城(3～5)
		昔と比べてバスの定時性は格段に向上しているので、議員自らも車に乗らないことを実践してもらいたい。		
		バスの定時定速性の状況はどうなっているか。	バス会社はバスロケーションシステムの導入により、実際の運行に合わせた時刻表へと適宜見直しを図り、定時性の確保に努めているとのこと。	
4	バスロケーションシステムの導入推進及びバス停留所のバス運行表示(車内の案内表示含む)について	バスロケーションシステムは若者に任せて、交通弱者にもななんらかの利便性を向上させる対策を講じてほしい。	案内表示板での情報提供等いろいろな情報提供の方法を工夫することで、交通弱者にも利便性の高いサービスができると考える。今年度から沖縄県公共交通活性化推進協議会において導入検討をする。	
		聴覚障がい者のためバス利用の際は、電光掲示板のバスであれば安心だが、ないバスの場合バスルートマップなどが掲示されていたらありがたい。	バス事業者やバス協会に協議会等で申し伝える予定。	
		聴覚障がい者だが、バスの押しボタンが故障して置いて、降り損ねたことがあるので、点検をこまめにしてほしい。	と同じ	
		バス停でのバス案内表示(バスが位置が分かる)の検討はないのか。	バスロケーションシステムの導入を進める中で案内表示を検討していきたい。	
		バスロケーションシステムを他のバスにも広げることではないのか。	現在、那覇バスと琉球バスが実施しているが、来年度から残りの2社(東陽バス、沖縄バス)も運用予定で、これによりバス会社に囚われることなく、本島内の全ての路線で検索可能となります。	

	大項目	市民からのご意見及びご要望(要約)	行政(市・県)の見解	担当委員名
5	自転車の環境整備について	バスの利用促進を促すのも良いが、その前に狭い地域なので、自転車利用推進を提案したい。自転車専用を市内にもっと設置してほしい。予算がなければ白線でもいい。 車利用者が自転車にシフトするよう、自転車やオートバイを購入した方への補助も検討したりして自転車の環境整備をしてほしい。 観光客向けのレンタル自転車がなくなり、スピードが速すぎて歩道を歩いて恐怖を感じることもある龍潭通りへの自転車道路設置の計画はあるのか。	自転車通行帯の整備としては、平成21年度に赤嶺・壺川地区整備を行った。現在、真地久茂地線・汀良翁長線等で翁長線等において、整備をおこなっている。自転車利用環境を向上させることで、自動車からの利用転換が図られる。モノレール駅等での駐輪場整備と合わせ、今年度一括交付金を活用して、自転車利用の実態把握を行い、自転車の環境整備に努めたい。 当該地域では歩行者・自転車有線道路の位置づけを行い快適な自転車走行空間を創出していく計画がある。	
6	真和志・小祿地区等のコミュニティバスの再実証実験について	与儀方面から新都心へのバスアクセスが不便である。せめて、大きな道へ出られるように網の目のように小型バスを走らせてほしい。 モノレール駅から近くの団地(宇栄原や石嶺)等へのコミュニティバスの運行をしてもらいたい 高齢者の多い識名地域にコミュニティバスを運行してもらいたい。 首里のコミュニティバス計画中に石嶺の2本のルートを要望したが聞き入れてもらえなかった。 小祿の実証実験は片方通行で逆にはいけないこととモノレール駅へのアクセスがなかったことが	支線と幹線を有機的に繋ぐ乗り継ぎ交通結節点の整備が必要と考える。併せて、分かりやすい運行状況の情報提供が重要と考える。バス網の整備(最適化)のためには県も含めて、バス事業者と協議しながら進めていく必要があると考える。 那覇市の交通機関軸の導入と合わせたバス網の再編について交通事業者と協議しながら進めていくことになる。低額に抑えた新規路線を走らせる場合には、既存路線と競合する路線がある時はバス会社の理解を得ることは厳しいと考える。 と同じ 石嶺地区のコミュニティバスの導入については道路状況や既存バス競合等から実現ができなかった。市総合交通戦略の中で福祉施設や周辺地域への公共交通アクセス環境整備を行う予定である。 モノレール駅との連結は重要であると考え。今後、バス網の最適化やコミュ	平良(6～8)

	大項目	市民からのご意見及びご要望(要約)	行政(市・県)の見解	担当委員名
6	真和志・小禄地区等のコミュニティバスの再実証実験について	悪かった気がするが。 コミュニティバスはS字で走らせたより多くの人が利用できると思う。 地域住民がどこへ行きたいのか、そのニーズを把握して再度運行へ検討してもらいたい	コミュニティバスの導入については交通事業者と協議しながら進めていきたい。 と同じ 小禄・真和志の両方とも利用者が少なく本格運行に至らなかった。以下と同じ。	
7	狭隘道路や昼時間帯等のバス小型化運行について	バスの小型化・台数増・路線増を希望する。 昼間のバスのほとんどが3～4人の乗車にも関わらず、大型バスが運行をしている。小型化を推進すべきではないか。	現在、那覇バスが新都心を中心に4台の小型バスを運行している。しかし、台数増は運転手の確保等の課題あり。 しかし、小型バスの狭隘道路への対応能力は高く、効率かつ有効であると考えるので、バス会社に導入を促したい。 バス事業者にとって小型車両購入費や積み残しが生じた場合の対応などクリアすべき点が多いため推進は現時点で困難。 ただ県としては、バス網再編によって系統別で小型化することは現実的と考える。	
8	モノレールについて	モノレールの電光掲示板を設置してほしい。	導入については予算措置も含めて関係機関と協議を進めている。現在、トラブル等の発生時にはA2サイズの掲示物を見やすいところに掲示をしている。なお、沖縄モノレールでは駅務員にサービス介助士の資格を奨励し60人中9人が取得しており、今年中に約半数の取得を目指している。	
9	バス・タクシー乗務員のマナーについて	パレットくもじ前・三越前・農連前での客待ちが渋滞の原因になっている。 バスで運転手に行き先確認すると「行かない」で終わり、どのバスに乗ればいい等の助言なし バス離れの原因はタイムテーブルが守れず、乗務員のマナーの悪さも一因では バス運転手に系統番号を聞いた時には反復してほしい。 観光客を待っていたと思われるタクシーに乗車したら乱暴な運転をするし降車拒否までされた。理由は訴えられるからとのことでした。 聴覚障がい者ということでタクシー乗車の際にすぐく面倒臭がられることがある。教育してほしい。	～乗務員のマナー教育は再三指摘がある。協議会等でタクシー協会やバス協会の方へ教育の徹底を訴えていきたい。 ハイヤータクシー協会にこの意見を申し伝えたい。	

	大項目	市民からのご意見及びご要望(要約)	行政(市・県)の見解	担当委員名
9	バス・タクシー乗務員のマナーについて	車椅子ということでタクシー乗者拒否されることがある。車椅子の乗せ方の講習も是非してほしい。	と同じ	與儀(9)
10	中心市街地のタクシー乗り場について	国際通り及び周辺での客待ちが渋滞の原因になっている。 国際通りの客待ちタクシーがバスの定時性を狂わせている。	市・県を含めた国際通り線整備計画協議会では、歩道を広くとり、場所に関係なく自由にタクシーが利用できるようにすることから、タクシー乗場を設置しないことが決定されている。但し、違法な客待ち行為に対しては警察やタクシー協会へ訴えていきたい。	大浜(10～11)
11	モノレール駅の自転車置き場や中心市街地のバイク置き場の整備について	平和通りやむつみ橋通り近くの空き地での駐車状況がひどい。市が空き地を整備して格安の駐輪場を作れないか。 駐車場・駐輪場の確保として、久茂地川・安里川に蓋をして確保するのも一案と思うが。 おもろまち駅の自転車置場に長期間放置しているものは処理してほしい	二輪車・自転車は省エネ・省スペースで車からの利用転換が期待できる移動手段である。現在、希望が丘公園で、二輪駐車場の実証実験を実施している。結果を踏まえ、駐輪場設置を検討したい。 河川であり、安全・環境面等で難しいのではないかと。 週1回巡回パトロールをし、悪質自転車は年3回強制撤去している。今後とも、駐輪場の適切な管理に努めていく。	
12	バス停留所「上屋」設置について	バス停で大雨に打たれたことからバス利用が遠のいた。上屋の設置を訴えたい。 バス停上屋は一つ作るのにいくら掛かるのか。作るピッチが非常に遅い気がする。 障がい者にとって上屋があることは非常に助かるが設置計画はあるのか。	県では、今年度、全県統一した標準的なバス停上屋を設計し、平成25年度から順次公共施設や商業施設等を中心に設置していく予定である。 風対策のため基礎を大きくしなければならぬため平均250万円かかる。しかし、今年度は一括交付金を活用して、上屋整備を順次進めていく。	桑江(12～14)
13	バス停留所の新規設置及び名称変更について	とまりん・アップルタウン間の距離が結構あるので停留所の設置は検討されたことがあるのか。 大嶺入口や自衛隊前バス停名は実情に合わないのでは変更はできないのか。	市において当該個所については、社会基盤整備総合交付金を活用して実現に向けて検討する予定です。 バス協会へ市民意見として事情提供をしていきたい。なお、名称変更については、	

	大項目	市民からのご意見及びご要望(要約)	行政(市・県)の見解	担当委員名
13	バス停留所の新規設置及び名称変更について		バス停を通過する系統数や便数が多いほど費用が膨らむので、費用負担については、バス会社と自治体などが協議を行い実施している状況です。	
14	バス会社への補助金について	バス会社に補助金を出して、利用しやすい料金設定にしてほしい。	県では既存の補助制度には赤字路線を対象とした補助金はある。一方、基幹バスシステム導入を推進するにあたり、他府県では類をみない高率補助を得ているので、バス網再編を促進させる考えである。	
15	LRT導入の展望について	本土では古島から中部病院までの距離が270円で乗れるLRTもある。導入はどうか。 20年・30年先を見据えた交通施策が必要ではたとえば、LRT導入が挙げられるが、人が歩くまちということで、交通政策があるが、年寄りには歩くことすら大変である。路面電車を走らせて欲しい 鉄軌道をつつくるだけで、まちをつくることになり、大きな影響がある。 国道に鉄道を敷けば95%の支援・補助が受けられるメリットがあるにも関わらず、取り組まないのか。 内閣府が南北縦断鉄道案が提案されているが、市として、どういう働きかけをするのか。 導入について、前向きに市民間、市役所で話をもらってほしい。 与那原町長のように那覇市でも行政側がもっと本気で考えて欲しい。	国では本島南北を縦断する鉄軌道と南部方面の支線の導入に向けた調査をすすめている。 国ではモノレールと並ぶ交通の軸となるモデル性の高い基幹的公共交通の位置づけを関係機関と協議しながら進めている。 新交通システム導入はその都市の交通の軸となり、モノレールに比べ安価である。しかし、市民の生活様式や土地利用を変える影響もあるので、導入に当たっては国、県等の関係機関と調整を図りながら進める必要があると考える。 沖縄県及び国の調査動向を注視して必要に応じて協議したい。 導入にあたっては広域的な視点からの検証が必要であるので国・県を中心に関係機関と十分調整を図りながら進めていく必要があると考える。 と同じ と同じであるが、事務担当者レベルで第1回LRT勉強会を先日実施をしている。	坂井(15～17)
16	新都心メインプレイス周辺の渋滞対策について	新都心メインプレイス周辺の渋滞がひどすぎるのでどうかして欲しい。 メインプレイス前は信号が6回も変わってから	本腰を入れて具体的に対策に取り組む予定である。県と一緒に国道330号線及びメインプレイス周辺の渋滞対策業務を	

大項目	市民からのご意見及びご要望(要約)	行政(市・県)の見解	担当委員名
16 新都心メインプレイス周辺の渋滞対策について	でないと扱けられない。	発注する予定である	
17 歩道(横断・陸橋含む)や信号機等(分離帯形状含む)について	道路工事の繰り返しで、歩道が歩きにくい。	掘り起こし規制の徹底や手戻り工事	
		の削減により仮設道路の設置で安全安心	
	陰のない歩道が多くて徒歩での移動が厳しい。	の歩行空間の確保を努める必要がある。	
		安全・安心な歩行空間の確保は重要	
		である。より歩きやすい環境を作るため	
		には街路樹の植栽も必要になる。	
	龍譚通りの交通量が多く子供やお年寄りが横断歩道を渡ることを躊躇する光景をよく見るが対策を検討しているのか	一方通行の導入やフリンジパーキング等の整備、面的速度規制やゾーンへの自動車交通規制など、段階的な自動車交通の抑制を図る計画をしている。	
	当蔵町の生活道路にレンタカーの侵入が非常に多いにも関わらず両側に歩道がない	の方策を取りながら歴史的なまちなみやスーグワの保全と生活道路整備	
		を行いたい。	
	旧博物館前に信号機を設置してもらいたい。	交通量の増加が見込まれる場合には	
		公安委員会に信号機設置要請を行いたい。	
	首里中から久場川団地へ通ずる道路の歩道を早急に設置してほしい。	設置には多大な補償費が必要なことから早期整備は困難であるが、区画線	
		設置や路側帯のカラー舗装等による歩	
		行空間の確保を実施している。	
18 真和志地区のモデル性の高い基幹的公共交通について	首里りうぼう前は拡幅されているが、信号機設置の予定はいつか。	交通量が増加し、地域住民からの要望	
		もあることから、現在沖縄県国家公安委員	
	石嶺団地入口のカーブは交通量が多いにも関わらず、歩道がない整備予定はあるのか。	会へ設置依頼をしているところである。	
	若狭地区の大きな道路に子供たちのために陸橋を設置してもらいたい。	今年度に都市計画決定を行い、整備する	
		予定である。	
		現在、手押し式の信号及び横断歩道を	
		設置している。	
	杖で展示ブロックを頼って歩く我々にとって、そのブロック上に荷物を置かれたり、駐車されると歩けないのでどうかしてほしい。	違法駐輪等の問題については道路管理者へ伝え改善してもらう予定である。	
	真和志地域は人口が多いにも関わらず、モノレールの恩恵を受けていない。便利な交通システムを考えてもらいたい。	真和志地域への交通の軸としてモデル	比嘉(18～19)
	真和志地域のバス接続が不便で路線も少ない。	性の高い基幹的公共交通という定時定速	
		高頻度の交通システムの導入を位置付け、	
		しており、現在実現に向け関係機関と協議を	
		進めている。	

[illegible]

	大項目	市民からのご意見及びご要望(要約)	行政(市・県)の見解	担当委員名
20	その他	昨年の台風で城東小のフェンスが壊れているがどうか。	補強を行い修繕済みと教育委員会から回答を得ている。	
		交通政策は長期ビジョンだけで具体性がない。数年でできるものと長期でできるものを明確に提示して欲しい。	那覇市総合交通戦略では5年～10年スパンで策定しているが、各種施策を早期に実現させたい。	
		ロワジールホテルから若狭に行くところはしゃもじ型になって右折車両が限定されるが対応は。	最適な形状にすべき中央分離帯については公安委員会と調整して改善する。	
		若狭公民館前の道路は抜け道として交通量が急激に増え、スピードを出す車両が多いのでどうにかしてほしい。	当該道路については、一方通行にして歩道を拡張して歩行者に優しい道路整備を検討している。	花城(~)
		若狭公民館前の歩道はでこぼこで大変危険である。どうにかしてほしい。	と同じ	
		山下交差点付近が朝夕の渋滞がひどい。車一人乗りが多いのが気になる。対策はないのか。	総合交通戦略で公共交通の利便性向上・車に頼りすぎる利用者意識の改革・交通渋滞の解消など着実に成果を上げたい。	
		公務員が率先して公共交通機関を利用すべきではないか。	職員についてはノーマイカーデーの呼びかけや毎年実施しているモビリティウィーク&カーフリーデーにおいて車に頼らない意識啓発を実施している。	
		今日会場で貰ったバスマップは大変重宝である。1家に1冊あればいいのだが。また市のイベントでチラシに最寄駅やバス停の表示をぜひしてほしい。	当該マップ等は転入者へ市民課で配布している。駅等の表示は横の連携を図りながら取り組んでいきたい。	
		道路拡張に伴い小禄の62号線へ出られない道になっているのでどうにかしてほしい。	コメントなし	坂井(~)
		市内で赤信号青左折矢印が減ってきたのはどうしてなのか。	歩行者の安全性確保を考慮した処置とこのことです。	
		視覚障がい者にとって歩道での自転車のスピードほど怖いのではないのでどうにかしてほしい。	関係機関に対しマナー向上のための注意喚起を促したいと考えている。	
		総合政策的なところで障がい者や高齢者を必ず参画させてほしい。	今後はその意見を踏まえながら計画を進めていきたい。	